

横浜市主催

参加費
無料

ヤングケアラーの日常を描く

オムニバス 短編映画『ツナガル』上映会・トークショー！

横浜市では、ヤングケアラーへの正しい理解を深めていただくことを目的として、短編映画上映会とトークショーを開催します。

元ヤングケアラーでもある製作総指揮の持田さんに登壇いただき、映画制作に込めた想いをお話しいただきます。

ツナガル

一歩踏み出す
その勇気で
拡がる世界



家族のケアをする高校生3人の実話を元にした物語

映画制作に込めた想い



製作総指揮

持田恭子

一般社団法人
ケアラー・アクション・ネットワーク
代表理事

高齢の祖父の介助、ひきこもりや不登校や発達障害があるきょうだい、心に不安定さを抱える母親のケアなどをしている高校生3人の物語を実話を元にして描きました。自分の気持ちを抑えて誰にも家族のことを打ち明けないのか、それとも一歩踏み出して行動する勇気を持つのか、選択は自由です。あなたにとって納得のいく選択とは何かを一緒に考えましょう。

オムニバス短編映画『ツナガル』の上映会と、
製作総指揮・持田恭子さんによるトークショー

開催日 令和7年11月13日(木) 13:30~15:00 (入場13:00~)

場所 横浜市磯子区民文化センター杉田劇場



住所：神奈川県横浜市磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田4階
アクセス：JR根岸線・シーサイドライン「新杉田駅」下車、
徒歩3分

申込 右記二次元バーコードから
申込フォームで受付



定員 先着150名 (定員になり次第締切)

問い合わせ 事務局 (タウンニュース社)

0120-192-389 (平日 10:00~17:00)

※本上映会は、横浜市の委託により、株式会社タウンニュース社が申込・問い合わせ先となっています。

主催 横浜市こども青少年局こども家庭課

— ヤングケアラー —

あらすじ

第1話：富永 淳斗 17歳の日常

高齢になった祖父を率先して介助する高校生の淳斗。急速に弱り始めた祖父の介助があるため友達からの遊びの誘いを断るようになった。祖父の介助をしていることを友達に打ち明けることができず、デイサービスを利用しても深夜のトイレ介助は相変わらず淳斗の役目だ。在宅介護をめぐる家族と高校生の心理を描く物語

メインキャスト

富永 淳斗（主人公）……今井 桢斗
富永 清（祖父）……彩野 一
富永 浩（父親）……酒井 康行
富永 和子（母親）……萩原 明子



第2話：山田 凜 17歳の日常

父はエリート会社員で母は教育熱心。長女の凛は成績優秀で真面目な高校生。誰から見ても幸せそうな家族だが実は弟はひきこもりで夫婦喧嘩の絶えない毎日に怯える妹は登校を渋り始める。自分が支えなければ家族が壊れると思い孤軍奮闘する凛だったが、ある事件をきっかけに親友に家族の事情を淡々と打ち明け始める

メインキャスト

山田 凜（主人公）……日下 玉巳
高山 楠（親友）……せき あみ
山田 恵（母親）……入野 佳子
山田 大樹（弟）……梅木 生望



第3話：根本 茜 16歳の日常

バスケ部に所属する高校1年生の茜は県大会のメンバーに選ばれた。母親に頼まれていつもの様に自閉症スペクトラムのある弟を放課後等デイサービスに迎えに行く茜だが、そのためには部活を早退しなければならない。先輩から問い合わせられても答えられない茜。しかし自分と似た境遇の仲間と出逢い勇気を出してある行動に出る

メインキャスト

根本 茜（主人公）……高岡 優
根本 武（弟）……幸芽
池田 詩（親友）……渡辺 彩加
根本 杏子（母親）……八島 未来



制作スタッフ 製作総指揮・企画・脚本：持田 恭子
プロデューサー：石田 智隆
総合応援：五味 譲・藤田 圭介
監督補：ホシノ エミ
助監督：泉田 圭輔
主題歌：「ツナガル」山崎 賢一
制作協力：FITチャリティ・ラン

横浜市特設ウェブサイト 「ヤングケアラーよこはま」のご紹介



横浜市では、ヤングケアラーについて多くの方に理解を深めていただく目的で、特設サイトを設置しています。ヤングケアラーについての様々な情報や支援窓口などを掲載。年齢にあわせたページも公開しました。ぜひご覧ください。

PC・スマホなど
からアクセス
できます



この二次元バーコードを読み込んでね

